

自殺に傾斜する 若者の動向 について考える

厚労省及び警察庁の発表(2020年3月)によると、2019(令和元)年の自殺者数は20,169人で対前年比約3.2%の減少、1978(昭和53)年から取り始めた自殺統計上での過去最小となりました。

年齢別で見ると、20歳代以上ではおしなべて減少しましたが、10～19歳以下では前年より2年連続で微増しています。未来ある若者が自殺に追い込まれる要因は何なのか、若者の自殺を食い止める方策はどこに見出されるのか、その答えを探すことは容易ではないとしても、「共に生きる」をめざす市民社会の一員として、ご一緒に考える場になりますよう、心からのお誘いを申し上げます。



日時

2020(令和2)年 9月5日 土

入場無料

定員 / 300 名

開場 / 13:00 開会 / 13:30 閉会 / 17:00

場所

北九州国際会議場 メインホール

住所 北九州市小倉北区浅野3-9-30 電話 093-541-5931

基調講演

大西 連氏

(認定NPO法人 自立生活サポートセンターもやい 理事長)

「自殺に傾斜する若者への対応」

シンポジスト

窪田 由紀氏 (九州産業大学 教授・臨床心理学)

「子どもの自殺の背景と予防教育」

三宅 仁史氏 (医療法人慈恵会 連携センター長 社会福祉士)

「若年層自殺未遂者支援の経験を通して考える」

大西 連氏 (認定NPO法人 自立生活サポートセンターもやい 理事長)

「『もやい』の活動から見えること」

富安 兆子氏 モデレーター

(社会福祉法人 北九州いのちの電話 副理事長・研修委員長)

主催 社会福祉法人 北九州いのちの電話・北九州市

共催 北九州市医師会、福岡県精神保健福祉協会、福岡県地域精神保健協議会、福岡県地域精神保健北九州ブロック協議会

後援 福岡県、北九州商工会議所、九州旅客鉄道株式会社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、FBS福岡放送、NHK北九州放送局、RKB毎日放送、TNCテレビ西日本、福岡県共同募金会(交渉中)

支援 厚生労働省・一般社団法人日本いのちの電話連盟

問合せ

社会福祉法人 北九州いのちの電話 事務局
〒803-0835 北九州市小倉北区井堀 5-1-3 北九州パレス内

TEL 093-652-6628 FAX 093-651-6595

申込み

はがき又はFAXでお受けします。お早めにお出かけ下さい。
・新型コロナウイルスの影響で中止になることがあります。

このチラシは、共同募金の配分金によって作成されたものです。

